



第13回ピースクラブファースト沖繩大会
(那覇市民館)

ピースクラブファースト沖繩レポート・Vol.11

ピースクラブ通信

No. 2

発行 社会福祉法人・ピースクラブ
住所 〒555-0014 大阪市浪速区大国二丁目11-1
連絡先 Tel&Fax 06-66647-2077
Eメール peaceclub@2.dion.ne.jp

三日目の分科会は沖繩県立看護大学で行われた。十一の会場に分かれて学習する。私はおっくん・奥山と《言葉とコミュニケーション》のグループに参加。話の内容をへたな指文字で必死で伝えるが、要点のみになつてしまった。

「何でも良いから発言を！と司会者の声。その時丁度タイミング良くおっくんの手が上がる。マイクがまわってくる。「いえ、違うんです。」と言った私を制すよ

うに彼はマイクを取つて話始めた。「僕は小学生の頃に事故に遭つて・・・」と始まり「髭の生えている人や色んな人を見ることが好きなのです。」と終わると、大きな拍手が鳴つたのであった。

閉会式も無事に終わり、再会の約束もして、昼食に宮古班？はその後にお別れ雨も降っていないので海へGOだつ！

メンバーは弘子・葉子・ゆりえ・河野・うのの女性陣と郁也・瓶田・道本・進一・岸本・河栄。

男性陣が着替えて出てき

トピックス

S区のある温泉施設で入湯拒否？に遭いました。玄關で係員がタイヤを拭いているのに脱衣場からは

(普)

「たらずい雨。ついさつ
きまは晴れたのに……
しばらく様子を見ていた
のだが、上がる気配は無
い。ゆりえが海に入れと
うるさい。彼女の強烈な
プッシュもあり、男みん
なでいざ海へ！」



ピースのメンバー

最後の夜は「うりずん」
で沖縄料理をコースで。
第2金曜夜のキジムナー
で食べれるものがほとん
どで、さすが岸本さんと
思えた。店の三線を借り
て唄うと二階の客から
「上でもやって！」とリ

クエスト。聡・郁也と三
人でライブもやった！お
もろかった！
そんなこんなでドタバ
タしつつも楽しげに、無
事に終わったピープラー
スト沖縄大会だった。

大阪へ帰って次の日に
一件のメールが入った。
新潟の小幡君からだった。
遊びに唄いに来て下さいい
つ！
河 栄（こうちやん）

勝ちとる会・釜ヶ崎「炊き出し」活動丸15年記念

夏一番 盆踊り大会 盛り上がる!!

「どっこい、おいらは生きてる」の横断幕のよう
に、心配していた天候も午後から晴れた7月9日
(日)、梅雨のさ中の暑い夕方、予定の5時より早
く、夏一番・盆踊り大会が始まりました。



主催の勝ちとる会(釜ヶ
崎高齢日雇い労働者の仕
事と生活を勝ちとる会)
が釜ヶ崎で「炊き出し」
活動を開始したのは、い
わゆるバブルがはじけ、
「失われた10年」が始まっ
た時期と重なります。以
後、その活動を続けるこ
とが出来たのも日々の物
資カンパ、資金カンパの
おかげで、幾多の志ある
人たちの協力があったか
らと、会の代表でピース
クラブのガードマンでも
ある中尾春男さん(春さ
ん)は語ります。

「最終目表という『運動』
の本質を踏まえた言葉だ
と思いました。
当日は、音頭バンドの
演奏を皮切りに、多数の
とび入りの参加を含め、
岡山から、写真の秋洪琪
さん(長島愛生園在住)
をはじめ、出演者に桜川
唯丸(江州音頭)。国分
家竹春(河内音頭)両師
匠をお迎えし、また大正
区からは沖縄のエイサー
も加わって、釜のパワー
を借りての盛り上がりで
した。」

しかし春さんは「炊き
出し」は本来、やっつは
いけないことなのだと
いいます。自分たちが善
い事をしていくのかのよう
に思い込みやすいこの
「業界」にあつて、その
行為が必要なくなること

ピースのキレイドコロ
……もとい、メンバーの多
くも粋な浴衣姿で踊りの
輪に加わったり、楽しい
ひとときを過ごしました。
いつの日かピースクラブ
のある地域でも、こんな
催しが開けたら、理想な
のですが……。

私たちの目指すもの

「障害者を生殺しにする支援費制度に勝つ！」

大西洋子（おほいしやうこ）

今、「障害者」の認定をするため、あれこれ質問をするけれども、その質問がバカげている。言葉の話をしない人に向かって、ウソをつくとか、妄想はあるとか聞かす。そして「ない」のところを○をつける。どうする気なんやろ。これだけ時間を使うんだったら、この人たちに今何が大切か、優先順位をつけて調査して、一つ一つ実現していくてくれば、どんなにいいか。

とって、何が今一番必要か。確かに支援費制度は予算がなくなつたということだけではなく、失敗やと、私も思う。構造が問題や。この制度のために何人天下りを雇つたか。何人の「健常者」の非常勤を雇つたか。そしてウサンクサイ事業者が、自分たちの都合で派遣するヘルパー制度。障害者のニーズに合わせた取り組みになつていない。片方ではボランティアでやってきた人もヘルパー制度に組み込まれて、その範囲しかやらず風呂とか泊まりとか、しんどいことをしていた人も、アホらしくなつてやめてし

まう。人間とは弱いものというのを見せ付けられている。

同じお金を使うならヘルパーが障害者に直接雇われ、じかにやり取りすれば、書類を整えるのに莫大な費用をかけるよりははるかに安くつく。

障害者が自分のヘルパーを自分の必要なことのために使うというのを仕事にして、一人一人がニーズを満たしていけばいい仕事になるのになあ。そんなサポートがしたい。

障害者に出ているお金をどれだけ障害者自身のために使えるか。おそらく私の概算では三分の一ぐらいやろ。そしてほとんど予算がけずられれば、そのしわ寄せはすべて「障害者」にいかない。健常者の仕事はけずれないし事業所の儲けもけず



にしなり 西成・釜ヶ崎・三角公園・萩之茶屋南公園
ピースの屋台はビールに泡盛、から揚げ、その他etc

れない。「だれのためのものか」。これを徹底するための施策が今問われている。7月25日、名古屋の斎藤縣三さんに来てもらつて学習会をした（その報告も近々する）。自分たちだけの工夫ではなく、普遍的、恒常的に価値観を変えるような仕事場づくりを、それを目指すあらゆる人たちと

の団結の中でつくりあげていく。ここ20年来シニコがんばっているグループがある。その人たちは当事者との「攻防」の中で信頼という醍醐味を味わっている。その話が共有できる仲間とつながって、本人はもちろん、親も、いっしょに働く健常者もがんばろう!!

私の父親がガンの再発で入院になり、私が毎朝病院に行くのを見て吉郎は外を出歩かなくなりました。「あの男の子、役場に行かないように言っただけさ。」と昼ご飯の時に電話があった。

早速役場に向かった。吉郎の事と私の電話番号を書いたチラシを持って、人に危害は加えない事、鏡を見る為にトイレに入る事、大きな声で騒いだり、物を壊す事があったら私に電話して下さい。「行かないで！」と言っただけで帰ってしまいました。入って欲しくなかつたら入り口で本人に入らないように言っただけです。と説明するが、職員は冷たい目をして「あさこのいもんだった。」

小さな町で職員も皆町の人、何処の家の誰の子供、皆知ってる間柄。何か悪い噂されてる様な感覚になる。が、それでも父親の病院に行かなくてはいけません。吉郎を四六時中見張ってる訳にもいかない。何かあった時その場で対応するしかあるまい！と決心するも、決心はグラグラ今にも崩れそう。それから、朝は、9時半までに家に帰る事、朝の作業がある事を言っただけで、吉郎

あさこの

みやこじま 宮古島だより

の先に連絡先を書いておけば、一本のジュース代と時計を持たせ外に行かせた。

出かける前に時間を守る様に約束させ、私が帰っても吉郎が留守の場合は、何処へ行ってたのか、何で遅れたのか、問い詰める。だが連絡先、時計は置きっぱなし、ジュース代だけ持って行ったり毎日毎日その繰り返し、ものすごく要領のいい吉郎に私があやつられていた様だった。

父親が退院するまで吉郎の朝の散歩は続いた。出歩く事が普通になり、町の人たちから苦情が来ても困ると思いつ、農協、Aコープ、交番、歯医者、近所に吉郎とチラシを配る。

「吉郎、大阪では吉郎の事を探してくれる人は沢山いるよ。でも、宮古島では一人、一人で吉郎を探さないといけない！分かるよね！約束だけは守ってや！」と毎日吉郎に言い続け吉郎は時々遅れるが今の所、分かってるかの様に約束を守ってる。私の動きをよく見ている吉郎、すきを見ては出歩くようになった、縄張りを何処まで広げるか、考えれば考えるほど私は吉郎に先を読まれてる様な気がしてくやしいさあ！

【盆休みの返上】 ピースクラブは、いつも盆、正月をどう過ごすか課題になって、みんなで旅行に出かけたり、ローテーションを組んだりしてきましたが、しかし、今年は発想を変えて、夏休みをとるのもOK。毎日来るのもOKということにしました（喫茶店「キジムナー」は8月13日から16日までお休みです）。

8月、9月の予定

- 8月10日(木) 健康相談日
- 8月30日(水) 西日本高速道路株式会社との第2回交渉日
- 9月1日(金) 「障害者」の就労についての学習会
- 9月9日(土) ~10日(日) NPO共同連全国大会in北海道大会
- 9月15日(金) ~18日(月) 自然治癒学会(韓国) 5名参加
- 9月17日(日) エイサー大会(大正区・千鳥公園) 今年も出店あり!
- 9月第2週を予定 健康相談日



*なお、この通信創刊号の発行が7月にずれ込んだのを訂正し忘れました。正式には7月6日です。